

地域・企業からの期待の声

豊かなコミュニケーション能力で新たな音楽文化の創造を。



㈱ヤマハミュージック
中四国
代表取締役社長
嬉野 哲也さん

私たちは、ヤマハ㈱の地域販社として「すべての人に音楽の喜びを伝えたい」という想いで日々仕事をしています。現代社会において、音楽を楽しむ層はますます大きな広がりを見せています。子どもから学生、社会人、そして、高齢になって初めて憧れの楽器を習い始めたりとその楽しみ方はさまざまです。私たちは、音楽を愛する人たちと感動を“ともに”創りつづけたいと願っています。

現在、エリザベト音楽大学を卒業された方々に講師や社員として活躍していただいておりますが、共通点は大学で学んだ音楽専門能力に加え、豊かなコミュニケーション能力が仕事に多いに役立っていることです。

音楽コミュニケーションデザイン専修で学ぶみなさんが、音楽の専門性だけでなく、心理学や音楽を通した双方向の関り等、今までになかった切り口から広く音楽文化を学ばれ、社会で活躍されることを期待いたします。

音楽家と聴衆の間に立ち続けることを使命とする人材に期待。



ブレン株式会社
代表取締役社長
村上 健さん

私たちは、日本の音楽の最前線で、演奏家が創造した表現をCDとし、演奏家のほとぼしる情熱を映像に捕らえ、作曲家が描く世界を楽譜に定着させることに情熱を持って活動を続けています。広島から日本国内の多くの音楽を愛する人々のためにそして世界中の人々のためにDVD、CDなどの媒体を使って、またスマートフォンなどインターネット・ツールなどを有効的に用いて、世界中の人々が人種、心情、宗教そして国境の壁を越えて音楽を通して平和を希求できるよう、また音楽家と聴衆の間に立ち続けることを使命として世界に向かって音楽を発信し続けたいと願っています。

音楽コミュニケーションデザイン専修で学ぶみなさんが、演奏者と聴き手の多様なニーズに応えられる音楽提供のあり方を追求・提唱してくださることを期待します。

医療・介護の現場へ音楽の力を！！



医療法人社団 博愛会
介護老人保健施設きさか
施設長
井上 康さん

私たちは、高齢化社会における要介護者を施設で受け入れ、介護看護サービス及びリハビリテーションを提供し、要介護者の在宅復帰や介護をされているご家族への在宅介護支援を行っております。

近年『認知症』の方へのリハビリテーションとしてさまざまな療法がなされていますが、我々は『音楽』を療法の一つとして用いています。この『音楽療法』で認知症状を緩和し、精神状態の安定を図り、利用者の人間性・社会性を回復することをめざしています。

『音楽療法』では作業療法士とピアニストがペアで個別のセッションを行いますが、その方の日々の心身状態の変化に柔軟に対応しなければなりません。

ピアニストはプレイヤー（演奏者）であり、観察者であり、療法士でもあり重要な役割を担っています。みなさんが、音楽コミュニケーションデザイン専修での学びを通して、高度な演奏能力とコミュニケーション・スキルに加えて幅広い見識を備えて社会で活躍されることを期待します。